



# 12年前日記

---

1999年12月17日  
(金)

---

山田夫妻

---

## 『12年前日記 1999年12月18日(土)』

---

【1999年12月18日(土)】\*2011年12月18日(日)記

8:00 起床(ヨッ、早起き名人!)

8:30~ 朝飯。荷物整理。

11:30 チェックアウト。

12:00~ フォアランポーン駅のツーリストガイドでホテル探し

13:30 『The Best Bangkok Hotel』チェックイン。

15:30~ 昼飯。伊勢丹の紀伊国屋で買い物。昼マック。

18:30 晩飯

19:00 就寝(ヨッ、早寝名人!)

### ●家計簿(タイ通貨1Bが約3円)

250B-ホテル

60B-メータータクシー

40B-昼飯

632B-『指差しタイ語』

35B-昼マック

67B-晩飯

18B-コンビニ(ファミマ)

### ●日記

8時起床と早起きは三文の徳コース。更に起きるなり、イソジン効果か「さあ、今日から仕事するぞ〜」と全身にヤル気がピンピン漲る。あ、もちろんソッチの仕事って言うか、朝勃ちの話じゃないぞ。喉の調子も回復気味だ。いくらでもインタビューしまくれる予感。

8時30分、ホテルの2階でバイキング形式の朝飯。

11時30分、チェックアウト前にウンコをしながら、「あ、今日はサタデーじゃん」と気付く。

このそこそこリッチホテルから、まずはバンコクのUNCHRに電話し、最新の難民キャンプの生情報を仕入れようと思っていたが、つまり土日じゃお仕事できない。

やっぱ格安航空券だから、毎週水と金しか便がなかったのだから仕方ない。水の便できて、バンコク慣れなんてしなければ...

水の便だからって、バンコク慣れしなきゃよかったって案には反対だ。バンコク慣れも仕事の内。登山家が高山慣れするようなもんだ。登山家は仕事じゃねえけど、ま、コッチだって厳密にはまだ仕事じゃねえんだけどね。いえ、コッチの話です。

そこまでバンコク慣れにこだわるなら、そもそも最初から金の便で来て、土日でバンコク慣れしとけば、週明けの月曜からバリバリ伝説だったか。

でもそういう都合の悪い過去は一切振りかえらないぜ。

とりあえずビジネスマンにも休息は必要ってことで処理しつつ、有り余る元気を土日でもできることで有効利用しようじゃないか。

そう、土日にも唯一できるビジネスと言え、気分転換を兼ねたホテルチェンジのみ。

12時、節約と節約とチャイナタウンからほど近い、バンコク中央駅ごと、フォアランポーン駅まで歩く。

クソ暑い。この国の気候はバカなんじゃないだろうか。仕事じゃなきゃ、こんな国来るか、炎天下歩くか。

ゴ、ゴホンゴホンゴホン。イソジン効果が切れてきたみたいだ。

そうまでして駅まで来たのは、ツーリストガイドがお目当てだ。ココで自称プロ戦場特派員の豆知識、知恵袋を披露。

ツーリストガイドでホテルを予約すると安く泊まれる。ま、よく知らんがな。

ちなみに某『地球の歩き方』に750Bと書いてあったホテルが、ツーリストガイドで予約すると自慢するわけじゃないが250Bに！ つまり500Bの大儲け！

更に昨日より500Bも安いわけだから、合計1000Bもゲット気分！

タイ滞在4日目にして、順調に日々落ちぶれている感があるのは気のせいだろうか。

この調子で行けば、明日は更に500B安いところになるから、-250Bのホテルっていうかホームレスに。

蛇足ながら本日のホテルは今までと違って朝食抜きの値段。だって、明日の朝食はいらないからね。

なぜならばいつまでも何もしないままじゃいけない。どうせ今日も明日も土日でお休みだしというわけで、浮いたお金、例の大儲け分1000Bを投資し、さっきのツーリストガイドにてついでに水上マーケットツアー（500B）を申し込んできたばかりホカホカ。

コチラは某『地球の歩き方』に書いてあったものの倍くらいの値段。だから、う～ん、引き分けだな。

ちなみに伏線だが、駅の中のツーリストガイドに行く途中、名札をつけた案内人みたいのに案内されて、駅の外に出て、駅の裏手のゴチャゴチャしたところの旅行代理店みたいなツーリストガイドで諸々の手続きをしたよ。

覚えておいてね。得は一切しないよ、耳より最新現地情報だけど、あくまで12年前の最新情報だから。

13時30分、メータータクシーに乗り（60B、メーターを戻して貰わないと、前の客が払った数字からスタートするマジックを披露される、されたね）、すぐ目の前の駅前の『The Best Bangkok Hotel』にわらじを預ける（は～い、またまた、12年後、2011年の俺だよ。12年前、1999年の俺はわらじを預けるって書いてるけど、これには深いわけがある。バンコクに本はそう何冊も持っていけないので、なかなか読み終わらない本を持っていこうと、『東海道中膝栗毛上下』を持っていったのだ。その影響に違いない。じゃあ、ま

た後で)。

と言いつつ二度と現れることはなかったとき。(ちょっとちょっと、もう冷たいんだから、1999年の俺ったら。コレは1999年の俺と2011年の俺の合作です。もし、うまくいっていないと思うなら、性格悪っ！ま、ご愛嬌つうことで処理しておいて)。

ここで成功談のお知らせ。ついに荷物持ちボーイにチップを払わず。何も知らないバカな日本人のフリが功を奏したようだ。ゴホンゴホン。

15時30分、30分単位できっちり行動しているようだが、時間はだいたいだ。きっちり荷物を解いて、バンコクのオシャレ街にある伊勢丹に買い物に出掛ける。

交通費節約のため、かなりの距離をふらふらと炎天下の中を歩き続ける。これが後に...ゴホンゴホンゴホン。

ようやく1時間以上歩いて、サタデーヌーンフィーバーと言え、やっぱデパートでウィンドウショッピングじゃん。バンコクにも伊勢丹やそごうがあるのだ(1999年時点では。今は知らない、俺はタイ人じゃねえし)。特にありがたくもないが。

屋台でタイ飯の肉と野菜乗せごはん(40B)を食べ、伊勢丹に入っている本屋さん、紀伊国屋で『指差しタイ語』(632B)を買う。日本で買うより6、700円くらい高い気が...

この本は先達のジャーナリストにいいと紹介されたが、教えて貰った書名が実際とは微妙に違って日本では買えなかったのだが、タイにきたら、きっとコレだとピンときたわけ。

また昼マックでオヤツ(35B)。店内のキンキンに冷え切ったクーラーを浴びながら思う。嗚呼、喉だけじゃなくて、体がダルイ、ダウン。

こりゃ、絶対にバカみたいに歩いて日射病か熱中症に。しかも朝、回復気味だった喉も完全にひどく。ホント体調を崩したのが仕事のない休日の土日でよかった、まさに不幸中の幸い、週休2日万歳！

夕飯にタイ飯のオカズのせごはんをテイクアウト(67B)、てか、いちいちタイ飯のホニャララと書いているが、テイクアウトしようがしまいが、どの店に入ろうが入らましが、基本的に食べるのは皿に盛られた御飯の上に肉と野菜を乗せた代物と、気分によってそれプラストムヤムクンを食べたり食べなかったりするだけだから、これからは食べ物ブログじゃないから、イチイチ書かないから、タイ飯で昼食って書いてあったら、「ははん、また肉野菜炒めと目玉焼き乗せごはんとトムヤムクンだな」とピ〜ンと来てね。ちょうど病人でへろへろで余計なことできないわけだし。

コンビニのファミリーマートで水やジュースを大人買い(18B)。ちなみにホテル替えの最中に、命の次に大事なイソジン(92.5B)を失くしたか忘れたか何か取材のソースかと疑われて盗まれたので薬局で新しいイソジンとシップ(92.5B)も！(田園調布に家が建つ！)。

シップ？シップの怪、シップの謎解き。言おうか言おまいか散々迷ったが、炎天下延々と歩いていて、頭が朦朧として道の段差でこけて、足を軽く挫いたので。俗に言う、公傷。労災おりるかなあ。

既に4日目にして満身創痍である。ま、コレも職業病だから仕方ない。激務の疲れが溜まって

いたところに、休日出勤で必要書類をわざわざ購入しにきたわけだから。

正直、これほどの激務とは思わなかつたろ、自称プロ戦場特派員のお仕事って。のんびり悠々自適なスローライフとか勘違いすんな！

18時30分にはホテルに戻る。門限厳守の箱入り娘みたいな理由は明日は朝イチから例の水上市場に行くからだ。喉痛いし、体ダルダルだからたぶん熱中症に風邪トッピングで、挫いた足も痛いし。喉もアレだし、ああ、もう超面倒臭い。しかし、取材のヒントはどこに眠っているか分からないし、意外なところに手がかりがあるやも知れない。

仕事のことを考えたら、すぐに眠くなって、19時には就寝。（おつかれさん、疲れているんだよ、いい夢見ろよバイ2011の俺）。

○本日の出費、計算するの面倒臭いB。

『12年前日記 1999年12月18日(土)』

<http://p.booklog.jp/book/41045>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/41045>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/41045>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.